

「行財政改革に関する計画素案」からの主な変更点

※ (☆) は、第2回委員会での御意見を踏まえ修正したものです。なお、「計画素案」公表時に修正したものを含みます。

1 全般的事項

- 「はじめに」の追記

2 「第3章 改革の取組」関連

- (☆1) P.16「取組1「共に支える」」の「図表14 多様な主体との協働・連携によるまちづくりのイメージ」と、関連する文章の修正（「社会福祉協議会」等を追記）
- (☆2) P.27「行財政改革の取組指標」を目標としてではなく、参考指標としての位置付けに修正

3 「第4章 各局等改革プログラム」関連

- 新組織名を反映
- (P.90)「市民サービス等の再構築」については、他の取組とは性質の異なるものとして、取組2の最後に順番を入れ替えた上、「今後、さまざまな御意見を踏まえ、具体的な見直し内容や、実施時期の検討を行うとともに、広く市民に周知を図りながら、取組を進める」旨を、取組の冒頭に追記
- 改革課題の追加等

ページ	取組	NO.	課題名
35	1－(2) 区役所改革の推進	2	区役所と局との役割分担のあり方の見直し
36		4	区役所機能の強化に向けた執行体制の整備
36		5	区予算のあり方の検討
37		6	(☆3) 区における広報・広聴機能の検討
64	2－(3) ICTの活用による市民サービスの向上・行政運営の効率化	3	電子申請システム等の利用促進
64		4	中原区安全・安心ネットワークによる市民への情報共有
64		5	学齢簿のオンライン化
80	2－(10) 出資法人の経営改善	1	出資法人の経営改善 ※法人ごとの「今後の方向性」等を追加
88	2－(12) 内部の業務改善	3	(☆4) 庁内会議の見直し
104	3－(1) 計画的な人材育成	5	区役所における行政のプロフェッショナルの育成

☆3 職員が現場に足を運び、地域の課題を的確に把握していくことについて明記すべきといった御意見を踏まえ、取組を反映しました。

☆4 職員等の「職場の方針・意思決定への参加」について、その前提として、施策方針等を決定する会議の資料を自由に閲覧できるようにするなど、情報共有化するルール作りを進めることを明記しました。

管理職と若手職員等とのコミュニケーション不足の解消に関しては、管理監督者のマネジメント力の向上に向けた取組等を進める中で、具体的な手法について、引き続き検討していきます。

➤ 指標の追加

ページ	取組	NO.	課題名	指標
29	1－(1)	1	多様な主体の協働・連携による地域課題解決のためのプラットフォームの構築	地域貢献活動に関する取組に関わったことのある人の割合（市民アンケート）
34	1－(2)	1	めざすべき区役所像の実現に向けた取組の推進	区役所利用者のサービス満足度
39	1－(2)	11	中原区役所窓口混雑緩和・サービス環境改善の推進	混雑期における区役所窓口の最長待ち時間
64	2－(3)	3	電子申請システム等の利用促進	電子申請システムの利用件数
69	2－(5)	4	財産の有効活用	財産有効活用の歳入額
109	3－(1)	15	多様で有為な人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・大学卒程度等採用試験の受験者数 ・大学卒程度等採用試験の採用予定者数と受験者数の比率
111	3－(2)	3	ワーク・ライフ・バランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・配偶者の出産休暇取得率 ・男性の育児休暇取得率

4 「第5章 今後の財政運営の基本的な考え方」 関連

- 「今後の財政運営の基本的な考え方案」を反映

5 「参考資料」 関連

- 「4 行財政改革の指標一覧」の掲載